

「季節の朗読会～冬～」

今年も紅葉の秋は駆け足で、冬の足音が聞こえる季節となりました。一足早く、冬をテーマにしたユーモアと温もり溢れる富弘さんのエッセイと詩をたっぷりとお届けします。皆様のお越しをお待ちしております。(榎田)

日 時 2025年11月29日(土曜日)

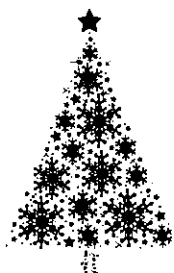
午前 11:30～

午後 13:30～

朗 読 有砂順子・榎田俊枝・中嶋容子・安 弘美

演 奏 梅山陽子(電子ピアノ&リコーダー)

企 画 Lively らいぶりい



ぷろぐらむ

午前の部

午後の部

エッセイ：絶望のはてに・1973年11月

詩 ショウビタキ

そばを食べながら(そばの花)

雪割草

エッセイ：らんの花の絵

詩 木瓜

すいせん

つばき

エッセイ：友

詩 ヒヨドリ

すずめ

赤べこ

エッセイ：「あなたの手のひら」より

詩 カンボタン

冬に咲く花(やつで)

あなたからの贈り物・ヨウナシ

故郷への道

エッセイ：母と二人だけの小さな展覧会

詩 落葉

山芋

みかん

エッセイ：櫓引き

詩 雪

難転(なんてん)

ポインセチア

エッセイ：サンタクロース

詩 竹

同じ重さ(ツバキ)

冬の枝(ビワ)

エッセイ：年の暮れ

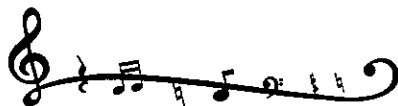
詩 百舌鳥

あなたの声(りんご)

放課後

故郷への道

演奏者から一言



梅山陽子：現在、リコーダーのグループで施設や小学校で演奏活動を行っています。

その他ピアノで絵本朗読会に参加をしたり、自分でも公民館活動の朗読や小学校での朝の読み聞かせを行っています。

美しい自然や四季を感じられる場所で皆さんと楽しい一時を共有できることを楽しみにしています。